

2015年3月10日

各 位

地域社会および医学・薬学の発展への貢献を目的に 創業 90 周年記念事業を展開

中外製薬株式会社〔本社：東京都中央区／代表取締役会長 最高経営責任者：永山 治〕（以下、中外製薬）は、本日、創業 90 周年を迎えます。創業 90 周年を記念し、当社へのこれまでのご支援に対し感謝を表すべく、地域社会および医学・薬学の発展に向けた社会貢献活動を、以下の通り実施することをお知らせいたします。

1. **在宅福祉移送サービスカー（移送サービス用福祉車両）（以下、サービスカー）の寄贈**
例年寄贈を行っているワゴンタイプのサービスカーに加え、軽自動車タイプのサービスカーを寄贈
2. **公益財団法人東京生化学研究会への寄付**
同財団が行う医学・薬学領域における研究助成事業（日本ならびにアジア地域）を充実させるため、寄付を増額

● 在宅福祉移送サービスカーの寄贈について

在宅福祉移送サービスカーの寄贈は、在宅で介護を受けるご高齢の方やお身体の不自由な方の移動手段として、1985年に中外製薬創業 60 周年記念事業の一環として開始して以来、継続して行っている事業です。今回、90 周年記念として、介護福祉の現場においてセカンドカーとしてニーズの高い軽自動車タイプのサービスカーを 30 台寄贈します。寄贈先につきましては、東日本大震災の被災地を中心とした東北 6 県の福祉団体を中心に選定いたします。本寄贈により、利用者の利便性向上につながることを期待しています。

● 公益財団法人東京生化学研究会への寄付について

東京生化学研究会は、薬物治療ならびに新医薬品の創製に関する基礎的・応用的研究を助成し、医薬品の独創的研究を奨励するために、この目的達成に貢献すると判断される研究に対して研究助成金および研究奨励金を贈呈しています。助成の対象は国内の研究者のみならず、アジア地域の若手研究者を国内の大学・学術研究機関等に招聘し共同研究を実施するなど、助成の範囲を拡げています。今般、同財団による医学・薬学領域における研究助成事業（日本ならびにアジア地域）を充実させるため、寄付を増額することにいたしました。本寄付を通じて、日本発の画期的な医薬品の創製が加速されることを期待しています。

当社 CSR 推進担当である代表取締役副会長の上野幹夫は『当社は、1925 年 3 月 10 日に、創業者の上野十蔵が前身である中外新薬商會を創業、医薬品の輸入販売を開始したことにその歴史を發します。90 年の節目に際し、当社へのこれまでのご支援に対し感謝を申し上げるとともに、創業の理念である「生命と健康を護る医薬品をつくること」に込められた製薬企業の社会的使命を再確認するとともに、事業哲学とする「すべての革新は患者さんのために」を常に念頭におき、全社一丸となってまい進していく所存です』と述べています。

中外製薬は、生命関連企業として革新的な医薬品を提供することに加え、このような活動を通じて「福祉」「医療」の分野での社会貢献活動を積極的に推進してまいります。

以上

【ご参考】

寄贈予定サービスカーの概要

- 前席に 2 名（運転手含む）、後方に 2 名、最大 4 名の乗車が可能です（後方に車いすの方が乗られる場合は最大 3 名）。また、車いすでの乗降が容易に行えるよう機能も備えています。

【イメージ写真】

